

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 24 日(土)

試合時間：10:00～

主審：神丸 一祐

副審：川島 司

西南女学院大学	○ 7 2	21	—1st—	15	● 5 2	福岡大学
		8	—2nd—	16		
		23	—3rd—	5		
		20	—4th—	16		

第 1 ピリオド

試合の幕開けは、西女大 # 1 2 中田のドライブに合わせた、# 1 1 岩田のシュート。対する福岡大も、# 5 1 中野が 3 P シュートをすぐさま決め返し、両チーム幸先の良いスタートを切る。中盤、西女大はアウトサイドシュート、福岡大はドライブを中心にオフェンスを組み立てる。激しい攻防の中、# 4 市丸の 3 P シュートが決まり、西女大が一步抜け出す。21-15、西女大の 6 点リードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

序盤、試合の流れは福岡大。# 1 5 小森園、# 2 8 藤井のレイアップシュートが連続で決まり、一気に 2 点差まで詰め寄る。残り 8 : 0 9、西女大はたまたずタイムアウトを請求。しかし、福岡大の勢いは止まらず、# 2 8 藤井のレイアップシュートですぐさま同点に追いつく。流れを変えたい西女大は # 8 山本を投入。ベンチの期待に応えるかのように、# 8 山本が 3 P シュートを連続で決め、再びリードを奪う。しかし終盤、このピリオド絶好調の福岡大 # 2 8 藤井のブザービーターが決まる。29-31 と福岡大が 2 点をリードし試合を折り返す。

第 3 ピリオド

第 2 ピリオドと打って変わり、静かなスタートの第 3 ピリオド。均衡を破りたい福岡大は、アーリーオフェンスからシュートチャンスを見出すも、得点に繋げることが出来ない。試合が動いたのは終盤。西女大 # 2 1 ニノ宮がオフェンスリバウンドからチャンスメイク、そして自らもバスケットカウントを決め、西女大に流れをもたらす。波に乗った西女大は # 1 1 岩田、# 5 渡辺のシュートも決まり、試合を優位に進めていく。52-36 と西女大が 16 点をリードし、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

第 4 ピリオドに入っても、試合の流れは西女大。# 2 1 ニノ宮、# 8 山本らのベンチメンバーが得点を伸ばしていく。なんとか追いつきたい福岡大は、# 2 6 半田、# 4 1 野口がゴール下で粘りを見せるも、西女大の激しいディフェンスの前にシュートが決まらない。終盤、西女大は # 1 8 嵩下の 3 P シュートが決まり、ベンチも大いに盛り上がる。ディフェンスとリバウンドで試合の流れを組み立てた西女大が、72-52 で試合を制し、3 勝目を手にした。